

(はっぱたち)
～みんなちがって みんないい～

発行 リープス(通級保護者の会)編集部
担当 川島(緑野小) 永田(第五小)

こんにちは！！リープスです(^^)みなさん、東京都教育委員会が特別支援教育の第三次計画を打ち出したことにより、狛江市がモデル事業に立候補し、選ばれたことをご存じですか？

今年度より三年間でこのモデル事業を実施し、成果を報告。その翌年より、検討。いずれは都内で実施される制度となります。そして、このモデル事業に伴い、狛江市では今年度の三学期より、各学校に特別支援教室を設置し、実践を開始いたします。

モデル事業については、今年度はじめの PTA 総会で教育委員会より説明会があり、ご存じの方もいらっしゃると思いますが…さてさて…このモデル事業！ なんのことやら？と思う方も多いかと思いますが。

簡単に言うと《特別支援教室》(今の通級学級のような支援)を各学校に設置し、困っている子どもたちの支援をより充実させよう！というものです(^^)

そして実践となると???クラスの中でも数人のお友達が通う学級…さてさて…どんなところでしょうか？と、言うわけで(^^)通級指導のご紹介と、支援を受けている子どもたちやお母さんの生の声を、今回はとりあげさせていただきます。

(ちなみに…狛江市は特別支援教育がとても充実しているありがたい市です!!)

通級の指導内容

○ 個別指導

子ども1人1人のペースや個性に合わせて、特性に合った設備環境の中、ていねいな指導をうけられます。

○ 小集団

少人数でコミュニケーションと社会性を身につける勉強をしています。

○ 運動

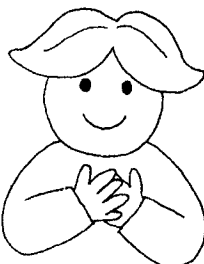
体を動かして脳を活性化し、集中力を高めたり苦手な動作の克服や運動機能の発達指導をうけています。



このバランスが
とても大切!!

ママの声

小集団(5～10人)指導は、通常級で過ごすためのスモールステップ。先生に見守られながらお友達と会話しコミュニケーションをとるので、どんなでもない事態にならないところがいいです



クラスでは付いて行くだけで精一杯でしたが、小集団では司会や進行等まで体験出来て、自分でも出来るという自信に繋がっているようです

何度言っても子どもの行動が治らず、親が感情的になってしまうこともたびたび。でも、通級の先生と連携して、掛ける言葉を統一したり、家で出来る工夫を相談できて心強いです

こどもたちの声☆

こどもたちにアンケートを取らせてもらいました（^^）

Q. 苦手だったけど出来るようになったこと。

本をたくさん
読むようになった（^^）



始めは恥ずかしかったけど、今は人前で
発表できるようになった（^^）

算数 ・ 料理 ・

Q. クラスで苦手なこと

自分の意見が
どうしても
言えなかった



先生の前で
ちゃんと
話せなかった

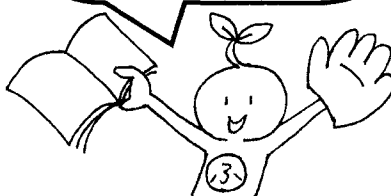
友達関係

スピーチが
苦手だった

Q. 通級してよかったこと

勉強と心がラク

ボールキャッチが
できるようになった



人と話せるように
なってから
友達が増えた

リボン結びの仕方が
分からなくて練習さ
せてもらった

編集後記

初めて編集の場に加えていただいた、今年ふたばデビューした母です。
自分の子どものこと、まわりの子どものこと、ふたば学級のことや粕江の取り組みなど、わからない事ばかりですが、まず知ることが大事だなと思う毎日です。
子どもができないことに頭にきていた毎日から、できない理由はどこにあるんだろう。
どうしたら子どもの負担を減らせるんだろう、と考える方向性を変えることで、
エネルギーを外側に向けて使えるようになった気がします。
子どもと自分の間では解決できないことがあっても、相談する場所があることでずいぶん楽になりました。
子供のことで困っているお母さん、ぜひ先生に相談してみてください。

～ 最後まで読んでくださり ありがとうございました ～